

目次

[今週号は 2021 年 11 月 5 日時点の情報を基に作成しています]

投資コラム	： 最近の経済指標		1
日本株銘柄情報	： ウイングアーク 1st(4432)		2
日本株銘柄情報	： グッドパッチ(7351)		3

最近の経済指標

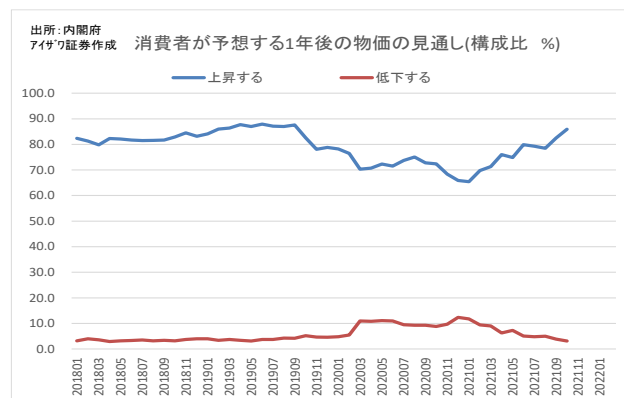
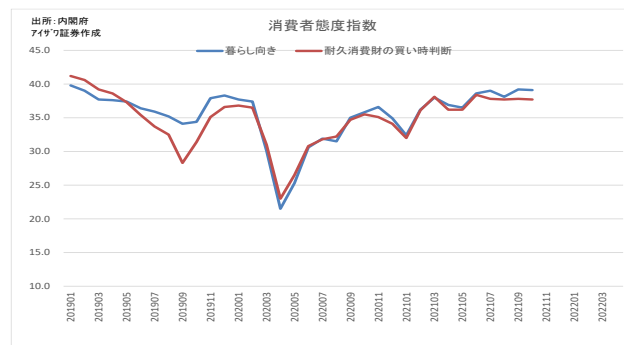
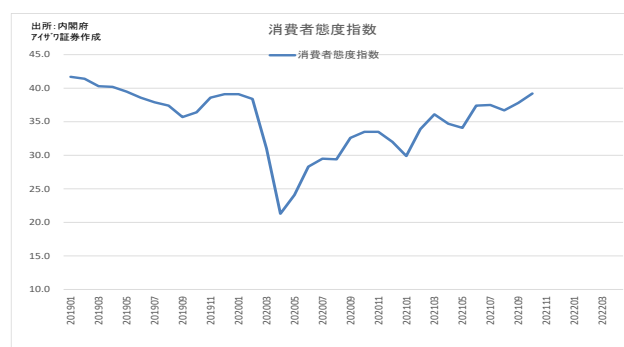
笹木 義次

消費者心理は着実に改善しています。2021 年 10 月の消費者態度指数は 39.2 となり前月差で 1.4 ポイント上昇しました。上昇は 2 か月連続となりました。

しかし、改善は緩やかなものに留まっています。消費者態度指数を構成している意識指数の動きがまちまちとなっているからです。

例えば、暮らし向きは 39.1 と前月差で 0.1 ポイントの低下に、耐久消費財の買い時判断は 37.7 と前月差で 0.1 ポイントの低下となっています。収入の増え方は 39.1 と前月差で 1.0 ポイントの上昇に、雇用環境は 41.0 と前月差で 4.9 ポイントの上昇となっています。

また 1 年後の物価見通しでは上昇するとの構成比が上昇し、ペースも加速しています。こうした期待物価の上昇も、消費者心理の改善を緩やかなものにしていくと筆者は推測しています。



ウイングアーク1st (4432)

笹木 義次

株価指標

株価 (2021/11/5) 2,216.0 円
 売買単位 100株
 市場 東証1部
 時価総額 759 億円

帳票・文書管理ソリューションを提供

ウイングアーク1stは、帳票・文書管理ソリューションと企業内のデータを活用するBIツールの提供と、大きく分けて2つのサービスを顧客企業に提供しています。

帳票・文書管理ソリューションでは、帳票類の作成、出力、管理に利用されているソフトウェアであるSVFが主要なサービスです。また、帳票類を電子化して一元管理するソフトウェアのSPAも提供しています。SPAは電子帳簿保存法に対応しており、データ化された文書類を適切に管理できます。クラウドでも提供しています。

ペーパーレス化に対応

直近では、invoiceAgentというサービスをリリースしています。invoiceAgentは企業間の取引で使われている各種の帳票類を電子化して、発行や受取りなどの流通機能を持った電子取引のプラットフォームです。電子取引、電子契約などに対応する機能を順次リリースしました。今後は電子伝票をリリースする予定です。

今上半期は増益に

ウイングアーク1stの2022年2月期上半期の業績は、売上収益が96億52百万円と前年同期比で10.0%の増収に、営業利益は29億23百万円と前年同期比で74.3%の増益となり

<業績の推移>

連結 IFRS

決算期	売上	営業利益	税引前利益	純利益	1株利益	1株配当
2020/2	18,677	5,684	5,523	4,076	130.7	0.0
2021/2	18,285	3,207	3,153	2,452	79.5	24.0
2022/2計	19,000	5,880	5,760	4,216	125.2	41.2

単位:百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

連結 IFRS

今期予想PER	17.7 倍
PBR	2.61 倍
予想配当利回り	1.85 %

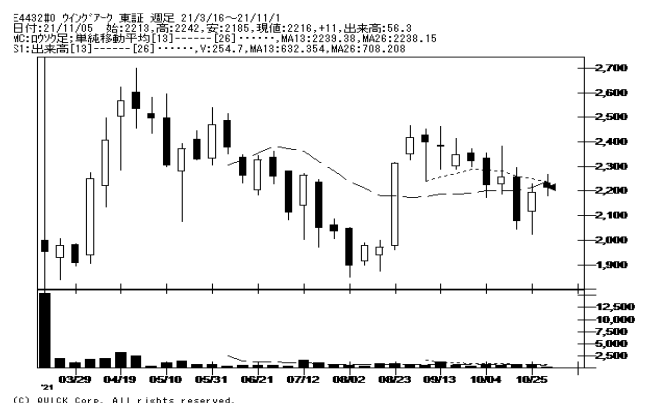
ました。ウイングアーク1stが重視している調整後EBITDAは35億74百万円と前年同期比で13.1%の増益となりました。調整後EBITDAは営業利益に減価償却費と一過性の費用を足し戻したものです。

SPAが伸長

SVFとSPAが伸長して、売上収益は増収となりました。リモートワークによるペーパーレス化や電子帳簿保存法対応によりSPAに対する需要が増加しているからです。

事業環境は追い風に

ウイングアーク1stでは2022年2月期の業績は、売上収益が190億円と前年比で3.9%の増収を、営業利益は58億80百万円と前年比で83.3%の増益を調整後EBITDAは71億80百万円と前年比で9.1%の増益を計画しています。ペーパーレス化や電子帳簿保存法改正など、SPAやinvoiceAgentに対して需要が増加しており、ウイングアーク1stにとっては追い風になっています。そのため人材の採用など成長投資を積極化させる局面になると筆者は見えています。



出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

グッドパッチ(7351)

笹木 義次

株価指標

株価 (2021/11/5)	3,000.0 円
売買単位	100株
市場	マザーズ
時価総額	238 億円

デザイン需要増加

デザインに対する需要が増加しています。DXを活用した事業の立上げや高付加価値のサービスを開発する上で、デザインの重要性が高まっているからです。特に、顧客の体験価値を設計する UX デザインの重要性が高まっています。

組織能力の向上に取り組む

これまで UI/UX 領域でデザイン支援を提供してきたグッドパッチでは、増加する需要を取り込むために組織能力を高める取組を継続的に行っています。具体的には、ハイスکیل人材の採用などの経営資源の拡充になります。

ハイスکیل人材とは、デザイナーに留まらずビジネス経験が豊富な人材の事です。戦略コンサルタント、マーケティング専門家、事業開発経験者などです。こうした非デザイナー人材をデザイナーとして転身させ、育成するに際して、グッドパッチの特徴である、体系化されたデザインプロセスや社内のナレッジデータベースが貢献しています。

ハイスکیلデザイナーの増加で、上流工程から関わるプロジェクトの件数を増加させる事が可能となります。それによりプロジェクト単価の上昇やデザイナー1人当たりの単価を引き上げる事につながります。このように組織能力の向上により、売上高の成長と利益率の向上につながり、企業価値の増価になる点を筆者は評価しています。

<業績の推移>

決算期	売上	営業利益	経常利益	純利益	1株利益	1株配当
2020/8	2,143	216	211	215	31.1	0.0
2021/8	2,741	406	393	327	43.3	0.0
2022/8計	3,778	518	486	375	47.4	0.0

単位: 百万円 (1株利益、1株配当は円) 計画は会社計画によります。

<投資指標>

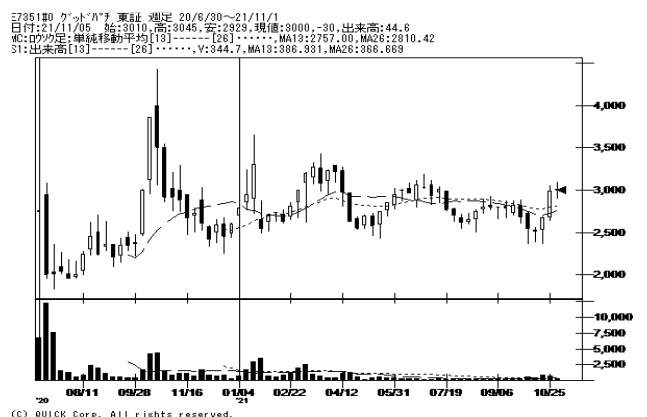
連結	
今期予想PER	63.3 倍
PBR	9.25 倍
予想配当利回り	0.00 %

前期は増益に

グッドパッチの 2021 年 8 月期の業績は、売上高が 27 億 41 百万円と前年比で 27.9%の増収に、営業利益は 4 億 6 百万円と前年比で 87.5%の増益となりました。デザインパートナー事業でプロジェクト件数が増加した事などから、売上高は増収となりました。総利益率の改善は、主にプロジェクト単価の上昇によります。

人材採用に注力

グッドパッチでは 2022 年 8 月期の売上高は 37 億 78 百万円と前年比で 37.8%の増収に、営業利益は 5 億 18 百万円と前年比で 27.6%の増益を計画しています。デザインパートナー事業では、ハイスکیل人材の採用を進めて、プロジェクト件数の増加と単価の上昇を見込んでいます。デザインプラットフォーム事業では、マッチング件数の増加を見込んでいます。筆者はグッドパッチの 2022 年 8 月期の業績は、売上高が 39 億 40 百万円と前年比で 43.7%の増収を、営業利益は 5 億 70 百万円と前年比で 40.4%の増益となる事を予測しています。人材の採用と育成が順調に進捗すると見ているからです。



出所: AstraManager よりアイザワ証券作成

本資料のご利用にあたり、お客様にご確認いただきたい事項を、本資料の最終ページに記載させていただきました。ご確認の程、よろしくお願いいたします。

金融商品取引法に基づく表示事項

■本資料をお客様にご提供する金融商品取引業者名等

商号等：アイザワ証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3283 号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会

当社が契約する特定第一種金融商品取引業務に係る指定紛争解決機関：

特定非営利活動法人 証券・金融商品あっせん相談センター（略称：FINMAC）

株式の主なリスク

株式は株価の変動等により、損失が生じるおそれがあります。お取引の際は、契約締結前交付書面をよくお読み下さい。

お客様にご負担いただく手数料等について

国内株式は、取引口座に応じて以下の委託手数料（税込）をいただきます。

対面口座：約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

インターネット口座「ブルートレード」：インターネット発注 最大 1,650 円

コールセンター発注 約定代金が 55 万円以下の場合は 1,650 円、

約定代金が 55 万円超 3,000 万円以下の場合は 3,300 円

コンサルネット発注 約定代金に対し、最大 1.265%（最大 149,875 円、2,750 円に満たない場合は 2,750 円）

免責事項

本資料は証券投資の参考となる情報の提供を目的としたものです。投資に関する最終決定は、お客様ご自身による判断でお決めください。本資料は企業取材等に基づき作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありません。結論は作成時点での執筆者による予測・判断の集約であり、その後の状況変化に応じて予告なく変更することがあります。執筆担当者または弊社と本レポートの対象企業との間には、重大な利益相反の関係はありません。このレポートの権利は弊社に帰属しており、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。

**LINE公式アカウント
はじめました！**

ベトナムを中心としたアジア情報
をお届けします。

[友だち追加はこちらから！](#)



ID : @aizawa